

博士学位論文 審査結果の要旨

芝浦工業大学大学院 理工学研究科 博士（後期）課程
博士学位論文審査委員会

主 査	福井浩二
審査委員	越阪部奈緒美
審査委員	須原良智
審査委員	渡邊宜夫
審査委員	小暮健太郎
*審査委員	

氏 名	加藤優吾
論文題目	肥満モデルマウスに対するトコトリエノールの効果について
〔論文審査の要旨〕 2022年2月16日（水）10時より5号館5251教室にて、機能制御システム専攻3年加藤優吾（NB19102）君の学位最終審査会を実施した。学内審査委員として2名の先生方には対面で、また学内員1名と学外審査委員として徳島大学薬学部の小暮健太郎教授にはZOOMのオンラインで最終審査会にご参加いただいた。 学位審査題目は「肥満モデルマウスに対するトコトリエノールの効果について」であり、脂溶性ビタミンの1種であるビタミンEの中でもトコトリエノールについて、通常謳われている抗酸化作用以外の新しい効果として抗肥満効果に対する研究成果をまとめ発表した。実験の主はマウスを使って行った行動実験と、行動実験後に解剖した脳組織を使ってのタンパク質の解析であった。また、呼吸代謝装置を用いて呼吸商を測定するなど稀有な測定装置を使用したデータもあった。 60分の発表の後、質疑応答に移り各委員の先生方から多くの質問を受けた。その中で、博士論文の記述に関するいくつかの助言を受けた。そのため、本人は直ちに修正した後に提出することを約束した。また、実験は大きく分けて3部構成になっていたため、それぞれの違い等についての質問があった。更には、ビタミンE（トコトリエノール）の投与量や投与期間、実験動物の投与開始の月齢はどのように決めたか？など、方法の部分についてもいくつか質問を受け、今後の実験を行う際の検討事項として本人は真摯に受け止めていた。 質疑応答全般を通しては、これまで学習してきた基礎知識をもとに参考文献のエビデンスをもとに明確に質疑に対して応答していた。査読有論文数や学会発表数は申し分なく、これらの点で学位の基準は満たしているのは勿論のこと、各委員の採点からも学位授与に関し問題はないと判断し、発表後の委員を集めた会議にて合格と判定した。	